

5/24

# 1979年度夏季輸送交渉はじまる

日刊 動労千葉

79.5.25 No. 129

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二五八・九(公衆電話)22七二〇七

千葉鉄当局は、五月二四日今年度夏季輸送計画についての概要提案をいたしました。当局提案の骨子は、昨年並みに内房、外房線快速列車を区間延長運転とし、特急(六〇〇台)急行、快速、緩行列車の全面運休及び部分運休とした計画であり、列車走行キロは昨年と比較し二三五・九キロ減の内容でありました。

## 当局提案内容は次の通りです

**1 夏季ダイヤ実施期間**  
七月一四日(土)から八月一九日(日)までの三七日間。  
(前年は七月一五日(土)から八月二〇日(日)までの三七日間)

**2 列車の設定方**  
(1)内房線、外房線  
特急、快速列車の増発(定期快速列車の延長運転を含む)を主体とし、入込、引揚時間帯に重点をおいた列車設定とする。

夏季中の特急・急行・快速列車設定本数

種別線	平日			休日		
	特急	急行	快速	特急	急行	快速
内房線	(3)10	3	13	(2)9	3	2
外房線	(2)8	3	14	(2)9	3	4
増減	(1)1		1	<1>		1
前年	(2)9	3	12	(2)8	3	4
増減				<1>		1

(注) 特急欄の( )は週末臨時を示す

(2)総武本線  
日曜日に週末急行一往復(六三〇一M、六三〇六M)を運転する。

**3 特急・急行・快速列車の発着駅**  
(1)特急・快速列車は東京発着とする。ただし上り快速列車は東京又は品川行とする。  
(2)急行列車は両国発着とする。ただし二〇六Mは新宿行とする。

以上でありました。この当局提案に対して、

## 動労千葉交渉部から次の通りの追及がなされました

①今年度夏季輸送計画の基本をどこに重点をおいて策定したのか。  
②「優等列車の停車駅統一」要求に逆行したものである。次回まで検討せよ。  
③夏季輸送開始までの線路改善、除草計画を明示せよ。

これに対し当局回答は、

①については、千葉局の乗務員需給にあわせて輸

**4 特急・急行・快速列車の臨時停車駅**  
定期列車(季節を含む)は可能を限り海水浴地帯に臨時停車させる。

- (1)特急列車  
内房線  
六〇一三M、六〇一六M……………保田  
六〇一三M、六〇一六M……………安房勝山  
六〇一六M……………岩井  
六〇一三M、五M、一八M……………富浦  
外房線  
六〇二三M、二五M、三七M……………御宿  
二四M、三二M……………上総興津  
三五M、六〇二八M……………上総興津  
三六M……………上総興津

- (2)急行列車  
内房線 一〇一M、一〇六M……………富浦  
外房線 二〇一M、二〇三M、二〇五M……………富浦  
二〇二M、二〇四M……………富浦

(3)快速列車  
所定停車駅のほか次のように停車させる。  
●内房線……………木更津、館山間各駅  
●外房線……………御宿、安房鴨川間各駅

**5 車両運行計画、乗務員作業、検修・構内関係労働条件、要員操縦計画については、六月一日の週に提示する。**

送計画を立案した。乗務員操縦は、津田沼からの助勤八名位を考えている。  
②、③については、次回交渉の場に提示する。

以上でありました。いずれにせよ動労千葉は早期に労働条件の提示を当局に行わせ、各支部要求を提出し対処していく方針です。

各支部は、夏季輸送に関する要求事項を六月一日までまとめ、動労千葉本部に集中して下さい。